

星野さん 古田さん(柳津小5) 最優秀



最優秀賞に輝いた星野仁志さん(右から3人目)、古田昊暉さん(同4人目)ら＝岐阜新聞社本社

小学生プログラミング県大会

全国選抜小学生プログラミング大会

大会が15日、岐阜新聞本社で開かれ、柳津小学校5年の星野仁志さん(11)と古田昊暉さん(同)のチーム「プログラミン組」が開発した高齢者向けアプリ「いきいきプラス」が最優秀賞に輝いた。3月に東京都で開かれる全国大会に県代表として出場する。



最優秀賞のプログラミン組の作品の一場面

岐阜新聞社、岐阜放送、岐阜聖徳学園大DX推進センターなどが主催し、「みんなのみらい」をテーマに県内の小学生からプログラミング作品を募集。1次審査を通過した5作品が最終審査に臨んだ。

星野さん、古田さんは祖母の認知機能の低下をきっかけに「かわいい孫の僕たちをずっと覚えてくれるように」との願いを込めて認知症予防アプリを開発。猫をなでると反応する機能や、じゃんけんができる機能などを盛り込んだ。審査員長の同大の芳賀高洋DXセンター長は「高齢化社会を見据えた視点が大会テーマに沿っている」などと講評した。

全国大会に向け星野さんは「緊張するが良い賞を取りたい」、古田さんは「文字を大きく見やすくするなど改良を重ねたい」と意気込みを話した。

その他の入賞者は次の皆さん。

- ▽岐阜聖徳学園大賞 古山青葉(関ヶ原4)▽岐阜新聞社賞 古山立樹(関ヶ原1)